

水稻生育速報

令和 2年 6月 1日
長岡農業普及指導センター

生育状況（6月1日現在）

コシヒカリ定点調査ほの生育（管内7か所）

草丈： 27cm = 指標値比 111 % = 長い

茎数： 89本/m² = " 103 % = 並

葉数： 5.6葉 = 指標値差 +0.8葉 = 早い

生育指標の基準日5月30日の生育を推測すると、茎数は指標値比95%で「やや少」、葉数は指標値差+0.4葉で「やや早い」。

※5月が比較的高温で推移したことから、植え傷みは少なく、生育が早まっている。分けつのは発生は順調であるが、ほ場間差が大きい。5月3日植えで茎数が300本/m²を超え、中干し適期を迎えているほ場もある。

今後の管理

1 田植30日後までに中干し開始

- (1) 5月30日からの1か月予報（5/28発表）では、気温は高い見込みとなっており、茎数の急増が予想される。
- (2) 目標穂数の7割を確保したら直ちに中干しを開始し、遅くとも田植30日後までには確実に実施する。
- (3) 適期の中干しにより、茎数過剰による籾数増加を抑制し、下位節間伸長による倒伏を防ぐ。
- (4) 溝切りは必ず行う。

2 ワキ、アオミドロ、表層剥離への対応

- (1) ワキ（水田から発生する硫化水素等）、アオミドロ、表層剥離の発生が多いほ場が見られ、一部では生育が停滞している。
- (2) 発生が多いほ場では、夜間落水や水の更新を行う。

3 補植苗の除去、除草の徹底

- (1) 補植苗は、いもち病の伝染源になるため、速やかに除去する。
- (2) いもち病多発地やわたぼうし・新之助等いもち病に弱い品種で、箱施用剤を使用していない場合は、6月10日頃までに本田で必ず予防防除を実施する。
- (3) 畦畔・農道の除草は雑草が結実しない間隔で行い、斑点米カメムシ類の発生を抑制する。

定点調査ほ場生育調査結果(令和2年6月1日現在)

※指標値は5月10日移植を想定

品種	地点名	本年 移植日	(参考) 前年 移植日	草丈			茎数			葉数			葉色		
				本年 (cm)	前年比	指標比	本年 (本/㎡)	前年比	指標比	本年 (葉)	前年差	指標差	本年 (SPAD)	前年差	指標差
こしいぶき	長岡市乙吉町	5/10	5/9	24	109%	109%	140	70%	140%	6.3	-0.2	1.3	-	-	-
	※こしいぶき平均	-	-	26	107%	117%	121	75%	121%	5.9	-0.4	1.2	-	-	-
コシヒカリ	長岡市乙吉町	5/13	5/15	29	106%	121%	97	99%	108%	5.8	0.4	0.9	-	-	-
	長岡市菅畑 (栃尾地域)	5/17	5/22	23	92%	92%	78	113%	104%	5.0	0.4	0.2	-	-	-
	長岡市小国町二本柳 (小国地域)	5/13	5/13	37	185%	154%	45	52%	50%	5.8	0.5	1.2	-	-	-
	長岡市岩田 (越路地域)	5/9	5/9	22	79%	88%	95	107%	106%	6.0	0.0	1.1	-	-	-
	長岡市寺泊京ヶ入 (寺泊地域)	5/18	5/12	21	84%	84%	117	114%	130%	5.0	0.6	0.1	-	-	-
	長岡市中条北 (中之島地域)	5/6	5/7	31	107%	124%	144	127%	160%	6.2	0.6	1.3	-	-	-
	小千谷市鴻巣	5/14	5/16	23	92%	115%	50	91%	63%	5.3	0.1	0.8	-	-	-
	コシヒカリ 平均	5/12	5/13	27	104%	111%	89	102%	103%	5.6	0.4	0.8	-	-	-
	※ 平場コシ平均	5/11	5/10	26	94%	104%	113	113%	126%	5.8	0.4	0.9	-	-	-
	※ 中山間コシ平均	5/14	5/17	28	119%	120%	58	82%	71%	5.4	0.3	0.7	-	-	-

こしいぶき平均：管内6か所のJA、普及指導センター調査ほ

平場コシ：長岡市乙吉、長岡市岩田、長岡市寺泊、長岡市中条北の4か所（それ以外を中山間地コシに分類）。

注) 前年は5月30日調査。